



また一つ成長した6年生

体育大会が終わったかと思えばすぐに修学旅行の準備と慌ただしいスケジュールを送っている6年生。小学校の思い出トップの長崎への修学旅行に行ってきました。毎年2日間、旅程を共にすることで気付かなかった良さを発見しますが、今回は「自立している6年生」という印象を受けました。班行動が班長を中心に統制が取れており、いつも班の様子を目配りしていました。時にやりたいことが異なり思いがぶつかったりすることもあります。それもまた自分達で意見を言い合っ
て折り合いをつけながら進んでいくことを繰り返し、最後はまた学級として帰結していくというその様子を、そばで見ているだけでも頼もしく感じました。

お陰様で6年生全員がこの長崎において羽田さんから被爆の実相を聞いたり、追悼記念館で平和集会を厳かに行ったりと、決して学校だけでは味わえない実体験を積むことができました。この体験を共有できたことは、6年生全員で学びをまた一層深めていくことにもつながります。

帰校式の時の子ども達の表情は、楽しかった思い出が次々と思い出されているようで、まだ心は青い空と教会の尖塔がよく似合う長崎の街にあるように見えました。班の皆で食べたアイスの味は大人になってもきっと覚えていることでしょう。大きな満足感と共に感謝の気持ちを十分にもった子ども達。これからの学校生活もまた能動的に過ごしていくのではないのでしょうか。帰校式にはたくさんの保護者の方が参加してくださいました。共に子ども達を見守れたようで嬉しく思いました。



高学年教科担任について

今年度から本校には昨年度までであった指導法改善教員が「高学年教科担任」という枠に変更されました。

これは、高学年に算数を中心に授業を担当するという制度で、その間担任は空き時間となり、他の授業準備をすることになります。文科省はこの制度の拡充を来年度以降も継続していくこととしています。

19日の授業参観では、5年生はどちらも算数をします。いつもはどちらのクラスにも教科担任の梅崎が指導を行っていますが、同じ時間帯での授業参観となったことから、今回は5の2にて授業補助を行います。

11月のスクールカウンセラー来校日の変更7日(火)→6日(月)午後

登校班について考えてみましょう

10月の全校朝会の後に、福田先生から登校班について全体指導がありました。それは最近登校班について、「挨拶の声に元気がない」「一列に並んでない」「おいてかれる」「なかなかついていけない」「嫌な言葉を言われた」等の声が聞こえてきていたからです。

全体に指導をすることで約束事を確認することになります。福田先生からは以下の合言葉が子ども達に伝えられました。これは1～4年生用です。高学年はもう少しレベルアップした合言葉の励行をお願いしています。

登下校中は大人の目が届かず、気も緩みがちです。だからこそ、子ども達に**自分で自分を律する**よう、心がけて欲しいと思っています。褒めるところが圧倒的に多い子ども達ですが、挨拶についてはまだ合格点をあげられません。この合言葉を全員が身に付けられるよう、全校で取り組んでいく所存です。ご家庭でも話題にしていただければ幸いです。

- せ せいでつして
- い いちれつ とうこう
- ぶ ふだんから
- こ こどもから あいさつ